

⚠ 警告 安全のために

警告表示の意味

「取り付けと接続」および取扱説明書、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠ 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えることがあります。



下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

本機はDC12Vマイナスアース車専用です
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。



助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付ける

動作の妨げになる場所に取り付けると、エアバッグが正常に動かず、けがの原因となります。



運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付ける

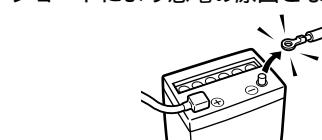
運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をすると、事故や感電、火災の原因となります。

- ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
- コード類はまとめる。
- ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。



配線作業中は、バッテリーのマイナス端子を外す

マイナス端子をつないだまま作業をすると、ショートにより感電の原因となります。



⚠ 注意

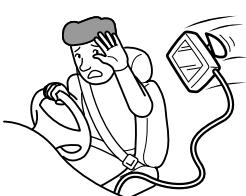
下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えることがあります。

付属の部品で正しく取り付ける

他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

安定した場所に取り付ける

振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。



本機の通風口や放熱板をふさがない

通気口や放熱板などをふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



アンテナは車体からはみ出さないよう取り付ける

歩行者などに接触し、事故の原因となることがあります。



SONY®

FM/AMコンパクトディスクプレーヤー

取り付けと接続

お買上げいただきありがとうございます。

⚠ 警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この「取り付けと接続」および別冊の取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この「取り付けと接続」および別冊の取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

取り付けはお買上げ店に依頼する

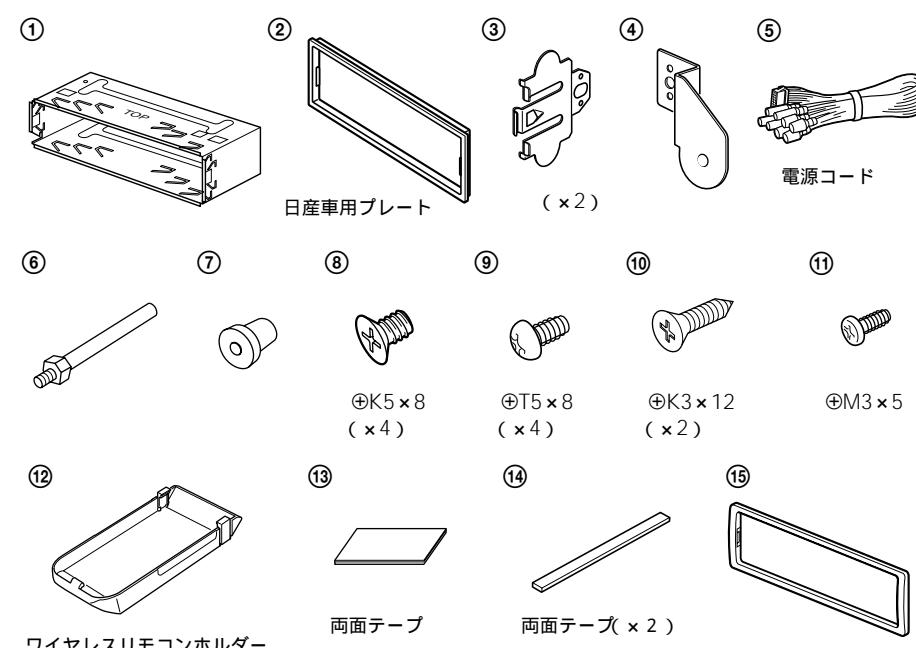
本機の取り付けは車種や年式により異なり、専門知識が必要です。万一、ご自分で取り付けるときは、この「取り付けと接続」に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電または自動車の損傷の原因となります。



CDX-C90

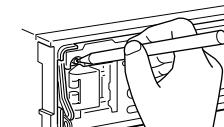
Sony Corporation © 1998 Printed in Japan

取り付け/接続部品(付属)



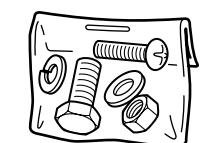
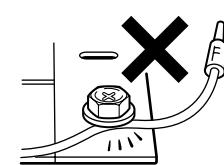
取り付けと接続が終わったら

- ブレーキランプやライト、ホーン、ウィンカー、ワイパーなど、すべての電装品が正しく作動することをお確かめください。
- 必ず、リセットボタンをボールペンの先などで押してください。
針のようなもので強く押すと故障の原因となります。



ビス・ナット類

- 必ず付属のビス類をお使いください。
- ビスやナットを締めるとき、他の配線を噛みこまないようにご注意ください。
- 車体のボルトやナットを使って共締めやアースをするとき、ステアリングやブレーキ系統のものは絶対に使わないでください。
- 外したビス類は、小箱や袋に入れて紛失しないようにしてください。
- 外すビスの種類が多いときは、混同しないようにしてください。



ソニー株式会社〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

● ナビダイヤル 0570-00-3311

(全国どこからでも市内電話料金でお利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は... 03-5448-3311

● Fax 0466-31-2595

受付時間:

月～金

9:00～

20:00～

土・日・祝日

9:00～

17:00



* 1 - 3 - 8 6 4 - 3 5 0 - 0 1 * (3)

取り付け

取り付け場所

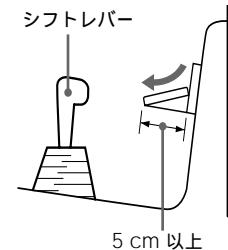
こんな取り付け場所はお避けください。

- 運転の妨げになる所
- 同乗者の安全を損なう所
- グローブボックスのふたの開閉や、灰皿の出し入れの妨げになる所

- ほこりの多い所
- 磁気を帯びた所
- 直射日光やヒーターの熱風などが当たる所
- 雨が吹き込んだり、水がかかる所、湿気の多い所

ご注意

- 本機上面の4つの穴をふさがないでください。この穴はソニーのサービスマンがチューナーを調節するときに使用します。
- 本機と車のシフトレバーの間は、フロントパネルが開閉できるように少なくとも5cm以上離してください。シフトレバーのギヤシフトやその他の運転の妨げにならないように取り付けてください。

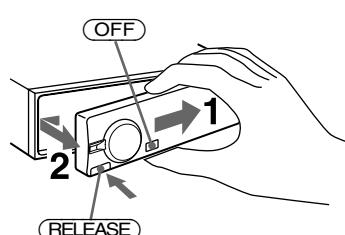


フロントパネルについて

本機のフロントパネルは取り外すことができます。必ずフロントパネルを取り外してから、本機を取り付けてください。

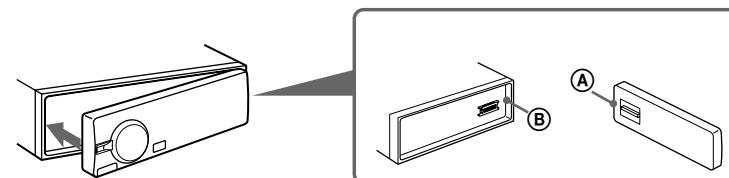
取り外し

必ず、**(OFF)**を押して本機の電源を切ってから、**(RELEASE)**を押してフロントパネルを開けます。図のようにフロントパネルを右に押しながら左側を手前に引いて取り外してください。



取り付け

フロントパネルの**A**部分と本機の**B**部分を合わせて、ロックされるまでフロントパネルの左側を押し込んでください。

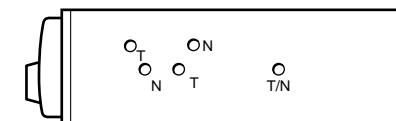


センターコンソールやインダッシュに取り付ける場合

トヨタ車、日産車、三菱車のほとんどは純正カーオーディオを外して、その後に本機を取り付けられます。取り付け可能車はお買い上げ店にお問い合わせください。お車が上記以外のときは、別売りの取り付けキットが必要です。お買い上げ店にご相談ください。

ご注意

- 純正ブラケットを本機に取り付けるとき、本機側面に刻印されているT(トヨタ車/三菱車用) N(日産車用)マークにブラケットの取り付けネジ穴を合わせて、付属の皿ネジ⑧で取り付けてください。
- 三菱車の純正ブラケットに本機を取り付けるときは、必ず付属の三菱車用トラスネジ⑨で取り付けてください。

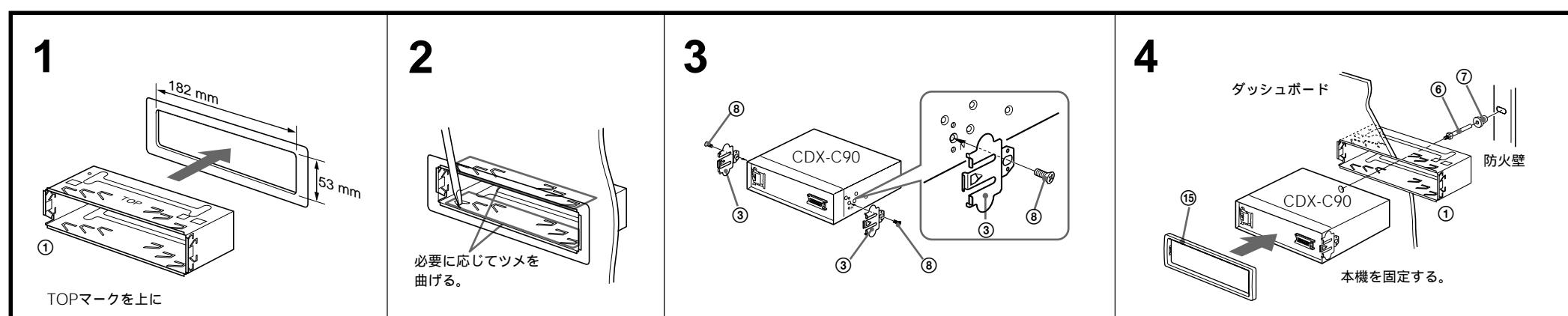


純正カーオーディオを取り外します。

センターコンソールやインダッシュから純正オーディオを取り外し、カーオーディオを取り付けていた純正ブラケットを利用して、本機を取り付けます。

ご注意

- 本機のフロントパネルの表示窓を押したり、ボタンに強い力を加えたりしないでください。
- 本機の上部に物をはさみ込まないでください。



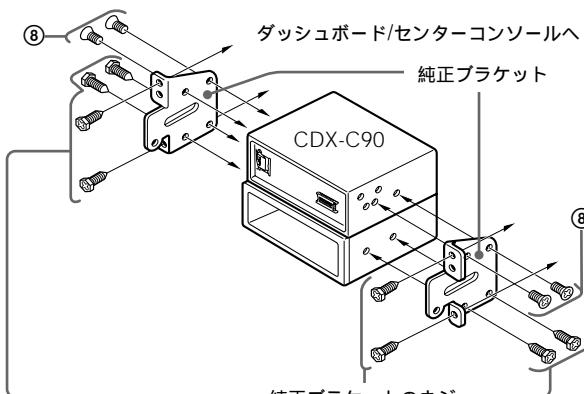
警告

ブラケット①の取り扱いには特に注意してください。
ブラケットで指を傷めないように注意深く取り扱ってください。

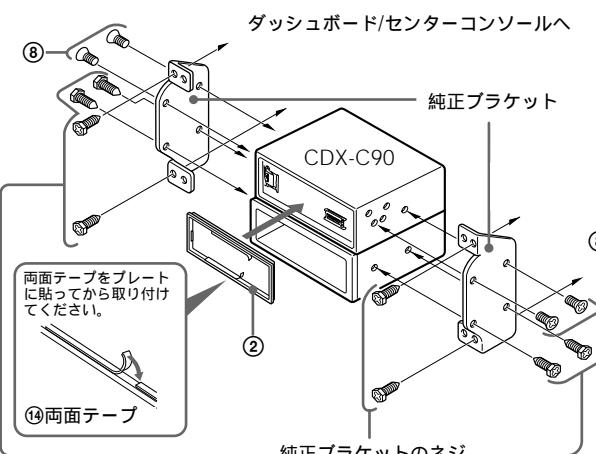


トヨタ車/三菱車の場合 (イラストはトヨタ車の場合)

⑧と⑨のネジは取り付ける車両により使い分けてご使用ください。
三菱車に本機を取り付ける場合は⑨のトラスネジをご使用ください。



日産車の場合



* 付属の皿ネジ⑧またはトラスネジ⑨で取り付けてください。他のネジを使用すると故障の原因になります。

接続 必ず接続先の機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ショート事故を防ぐために

本機の電源コードの接続は、必ずイグニッションキーをOFFにして、すべての配線をすませてから行ってください。先に電源コードを接続すると、ショートにより感電や製品の破損の原因となります。万一、先に電源コードを接続して配線しなければならないときは、はじめにバッテリーのマイナス端子を外してください。

ただし、ドライブコンピューターやナビゲーションコンピューターが取り付けてある車では、バッテリーのマイナス端子を外すとメモリーの内容がすべて消えてしまうことがあります。

純正アンテナブースターの接続

車種(一部のバーインテナ車種を含む)によっては、純正アンテナブースターに電源を供給する必要があります。この場合は青色コードを純正アンテナブースターにつなぐか、アクセサリー電源から電源をとるようにしてください。くわしくは、お買い上げ店にご相談ください。

パワーアンテナをお使いになる場合

本機の背面から出ている青色コードをパワーアンテナ(リレーボックス付き)に接続してお使いになると、ソース(Tuner,CD,MD*)の電源を入れたときにパワーアンテナが自動的に出ます。

*別売りのMD機器が接続されているとき。

FMダイバーシティアンテナをお使いになる場合

- FMダイバーシティアンテナの接続が違っていると、雑音が増加し、正常な受信ができなくなります。
- 本機のダイバーシティアンテナは、トヨタ車のダイバーシティ対応車種の場合、そのまま接続してお使いになります。他の車種でお使いになる場合は、別売りの変換アダプターが必要です。

FMダイバーシティアンテナをお使いにならない場合

通常1本のアンテナをお使いになる場合は、本機のアンテナコネクターのうちメインと表示されている(太い)方に車両側のアンテナを接続してください。サブアンテナ(細い方)に接続すると正しく受信できません。

大出力パワーアンプをお使いになる場合

より良い音で楽しんでいただくために、以下の調整をしてください。

ソニーのパワーアンプをお使いのとき

LEVEL(またはGAIN)の調整つまみをMIN側にしてください。

他社のパワーアンプをお使いのとき

本機のボリュームを、真ん中より少し上にしたときに適度な音量になるように、パワーアンプのLEVEL(またはGAIN)を下げてお使いください。

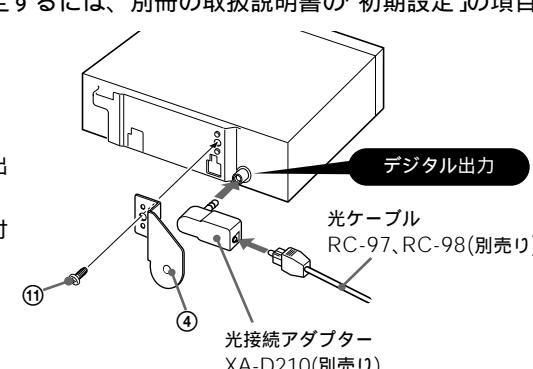
デジタル接続する場合

デジタル出力を接続するには、光ケーブル(別売り)を光接続アダプター(別売り)に接続して本機の背面のデジタル出力端子に接続します。このときデジタル出力を「on」に設定してください。

デジタル出力を「on」または「off」に設定するには、別冊の取扱説明書の「初期設定」の項目をご覧ください。

ご注意

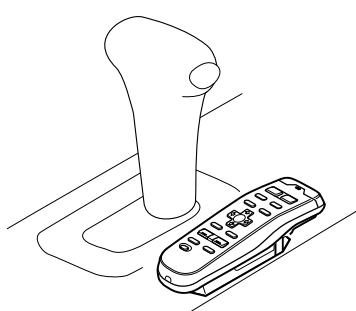
- デジタル出力の出荷時の設定は「off」です。
- デジタル出力を正しく設定しないと音が出ません。
- デジタル出力を接続する場合は必ず取り付け金具④とネジ⑪で取り付けてください。



ワイヤレスリモコンの取り付け

取り付け位置について

- シフトレバーの横などの操作しやすく手軽に取り出せる場所に取り付けてください。
- シフトレバーの操作やサイドブレーキを引くときなど運転の邪魔にならない場所に取り付けてください。
- 座席の前後、上下など可動部の妨げにならない場所に取り付けてください。



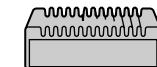
システム接続例

2台以上のCD/MD機器を接続する場合、別売りのソースセレクターXA-C30が必要です。

図中の接続機器(別売り)



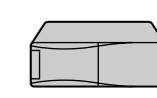
フロントスピーカー



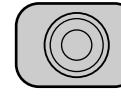
パワーアンプ



リアスピーカー

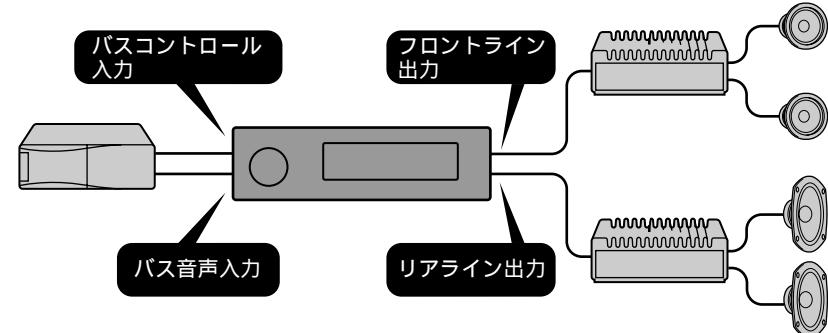


CD/MD機器

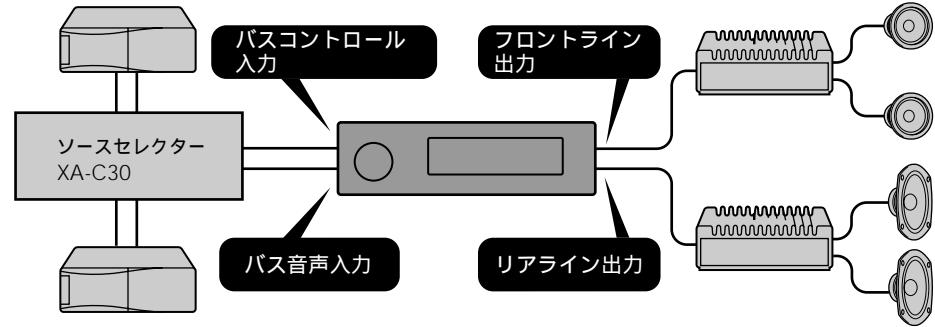


アクティブスピーカー

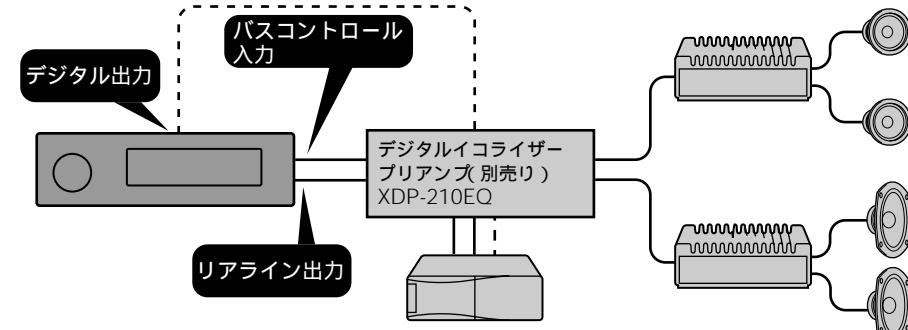
接続例1



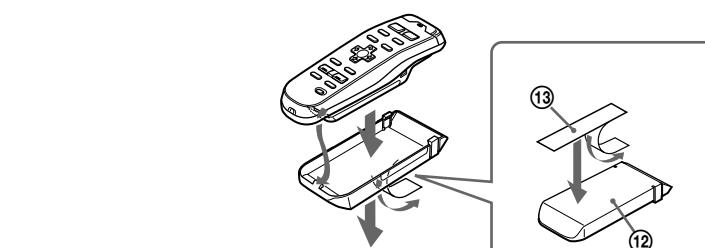
接続例2



接続例3

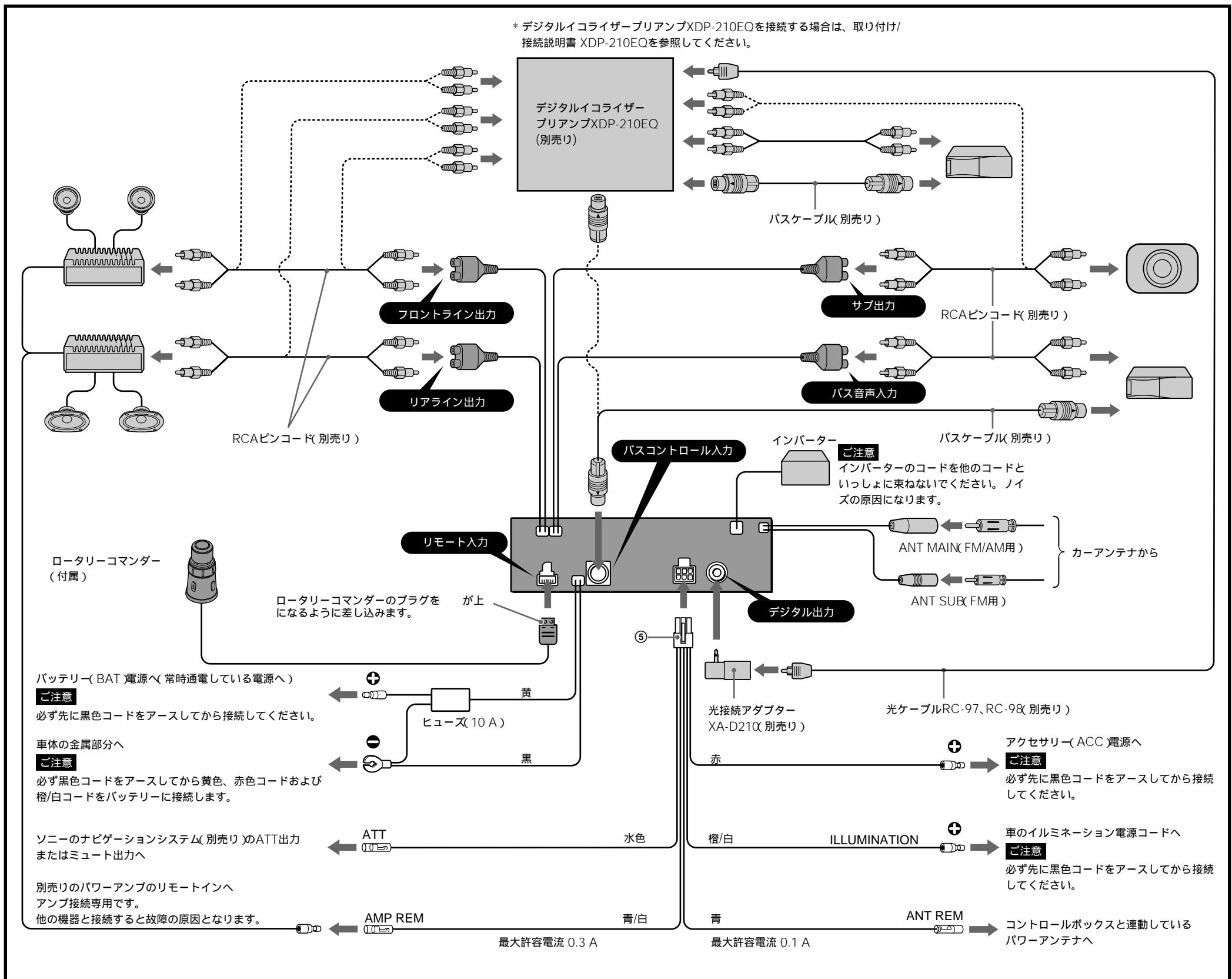


ワイヤレスリモコンホルダー⑫の両面テープ⑬を貼るところをきれいに拭いてください。



ご注意

- 直射日光は赤外線信号の受信に影響を与えることがあります。このような場合、ワイヤレスリモコンを本機に近づけてご使用ください。
- 高温になると変形することがありますのでワイヤレスリモコンを直射日光のあたるところに取り付けないでください。
- 温度による変形を防ぐために、駐車するときはグローブボックスなどに収納してください。



電源コードの色分け

赤色コード	アクセサリー(ACC)電源入力コード 車のキーをLOCKかOFFにすると電源供給が切れて、ACCにすると電源が入るところ(ラジオ回路など)に接続します。
黄色コード	バッテリー(BAT)電源入力コード 車のキーに関係なく、常時通電しているところでヒューズの容量値以上の電源が取れるところに接続します。本機のOFFボタンを押すか、イグニッションキーをOFFにすると、メモリー保持用の電流だけが流れます。
黒色コード	アース用コード 車体の金属部分に確実にアースしてください。
青色コード	<ul style="list-style-type: none"> パワーアンテナのコントロール出力コード ラジオのスイッチを入れたときに、このコードから12ボルトのコントロール用電源を供給します。くわしくはお手持ちのパワーアンテナの説明書をご覧ください。 純正アンテナブースターアンプの電源供給出力コード <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> リレーボックスの付いていないパワーアンテナは使用できません。 車側にパワーアンテナや純正アンテナブースターがない場合、あるいは、手動式のロッドアンテナの場合には接続の必要はありません。
青/白線コード	パワーアンプ専用のコントロール出力コード
橙/白線コード	イルミネーション電源入力コード ライトスイッチをONにしたときに、電源が入るところに接続します。
水色コード	ATT入力コード ソニーのナビゲーションシステム(別売り)のATTまたはミュート出力コードに接続します。

別売りのパワーアンプを使用する場合

本機は、別売りのパワーアンプを接続した場合に高音質のサウンドを再現できるように設計されています。より良い音で楽しんでいただくために、以下の調節をしてください。

- 1 本機の音量つまみで、接続する別売りのパワーアンプに合わせて可能な限り音量を上げてください。高周波ひずみとS/N比を改善します。
- 2 パワーアンプのLEVELつまみで適度な音量に調節します。

ヒューズ

- 電源の黄色コードにあるヒューズが切れたときは、配線などをチェックして必ず原因を確かめ、適切な処置をしてください。その後、ヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズと交換してください。規定容量以上のヒューズや針金で代用することは大変危険です。
- 電源の黄色コードを接続するときは、本機のヒューズ容量が車両側(純正ラジオ用バッカアップ電源)のヒューズ容量以下であることを確認してください。また、アンプなどを接続したシステムで使用する場合は、総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし車両側の容量が小さい場合はバッテリーから直接電源を引いてください。このことを確認しないと異常が生じた時、車両のヒューズが先に切れ他の機器が機能しなくなります。

インバーターの取り付け

- 市販の両面粘着テープなどを使用して本機からなるべく離れたところに取り付けてください。
- インバーターのコードは、RCAピンコードやその他の接続コードといっしょに束ねないでください。
- マットの下やエアコンの水がかかるようなところには取り付けないように注意してください。
- インバーターのコードが何かにはさみ込まれているとディスプレイの表示が出ないことがあります。